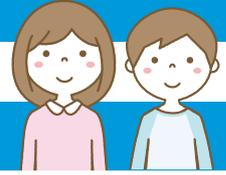


子供への新型コロナワクチン接種

新型コロナワクチンが接種できるのは、接種日に満12歳以上の人です。
 12歳の人については誤接種を防ぐため、12歳の誕生日の翌月に接種券を郵送します。
 ※事情により翌月以前に接種を希望する人は健康推進課に連絡してください



効果と副反応

子供の新型コロナウイルス患者の多くは軽症ですが、まれに重症化することがあり、重症化を防ぐワクチン接種は効果的だと考えられます。

その反面、国外での子供を対象とした接種では、ワクチン接種後の発熱や接種部位の痛みなどの副反応出現頻度が比較的高いことが報告されています。

接種に当たっては、こうしたメリットとデメリットを子供と保護者などが十分に理解した上で、判断してください。

差別をしない

医学的な事由により接種を受けられない人もいます。ワクチン接種を希望しない子供と保護者などに対して、不当な差別や特別扱いは絶対にしないようにしましょう。

未成年への接種における保護者の同意

16歳未満の人の接種については、予診票に保護者の署名が必要です。16歳以上の人については、本人の署名により接種できます。

年齢区分	保護者の同意	保護者の同伴	留意点
16歳以上の人 (16歳の誕生日の前日から)	必要なし	必要なし	○予診票の「電話番号」記載欄に緊急連絡先（予診や接種の際に、必ず保護者と連絡がつく電話番号）の記載が必要
16歳未満の中学生	必要 (予診票に保護者自らが署名)	原則必要 (ただし医療機関が保護者の同伴が必要ない旨を案内している場合に限り、保護者が予診票に自署することで同伴がなくても接種可能)	○保護者の同伴が必要な場合で、親族などに同伴を委任する場合、受任者が被接種者の健康状態を普段より熟知していることが必要
12歳の小学生 (12歳の誕生日の前日から)		必要	

本当ですか？

～新型コロナワクチンにまつわるSNSで拡散されている情報～

ここに掲載する情報は、厚生労働省のホームページに掲載されている情報（8月16日時点）をもとに編集しています。

Q 1 新型コロナワクチンの接種が原因でたくさんの方が亡くなっているというのは本当ですか？

A 1 日本で新型コロナワクチンの接種が原因で亡くなった人がいるという事実は確認されていません。

「ワクチンを接種した後に亡くなった」というのは「ワクチンが原因で亡くなった」ということではありません。接種が進んでいる米国のCDC※は今年6月時点で「死亡事例とmRNAワクチン接種には明らかな因果関係がない」と発表しています。

日本でも副反応疑い報告制度で、ワクチン接種後の死亡事例が報告されていますが、現時点でワクチン接種と因果関係があると判断された事例はありません。

※アメリカ疾病予防管理センター

Q 2 ワクチンを接種することで不妊になるというのは本当ですか？

A 2 ワクチンが原因で不妊になるという科学的な根拠はありません。

ワクチン接種により流産率は上がっておらず、妊娠しにくくなるという根拠も確認されていません。新型コロナワクチンには、排卵や妊娠に直接作用するホルモンや、卵巣や子宮に影響を与えることが知られている化学物質が含まれていません。また動物実験でも、接種したラットが問題なく妊娠・出産したことが確認されており、生まれた仔にも異常は無かったことが報告されています。

新型コロナワクチンの成分が大量に卵巣に蓄積したという情報がSNSで流れていますが、これは正確ではありません。また新型コロナワクチンには精巣に影響を与える成分も含まれていません。男性も、現時点でワクチン接種が不妊の原因になるという科学的な根拠は報告されていません。

Q 3 新型コロナワクチンの動物実験で全ての動物が死んだというのは本当ですか？

A 3 新型コロナワクチンの実験動物がワクチンの毒性によって異常な死を遂げたという事実は確認されていません。